

事業番号	事務事業名	町観光協会補助金	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04390	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	産業観光課	担当者・シート作成者	小谷 英
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	観光協会補助金として助成する。 ①補助金等交付申請書の受理 ②補助金等交付決定通知 ③補助金の確定 ④補助金の支払	鏡野町観光振興協議会が平成18年11月に設立し、協議会より各地区(鏡野・奥津・富・上齋原)観光協会に分配される鏡野町全体の観光振興事業への補助金。①協議会の総会及び月例会の実施、②補助金の支払業務、③協議会協働による事業として、四季企画の実施を行う。平成23年3月に鏡野町観光協会を設立。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	鏡野町観光協会	→	ア	観光協会の数(地区数)	地区	見込 実績	4 4	4 4	4 4	4 4
イ		→	イ			見込 実績				
ウ		→	ウ			見込 実績				

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
ア	協会の自立・活性化	→	ア	観光協会会員数(賛助会員を含む)	人	目標 実績 達成率	50 46 92.0%	55 47 85.5%	55 49 89.1%	55 55 100%	55 89.1%
イ	多くの人に鏡野町を知ってもらう	→	イ	観光入込客数	千人	目標 実績 達成率	1,080 925 85.6%	1,100 729 66.3%	800 790 98.8%	825 850 100%	850 92.9%
ウ		→	ウ			目標 実績 達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
ア	観光協会観光宣伝	→	ア	町内外への観光宣伝回数	回	目標 実績 達成率	39 35 89.7%	40 21 52.5%	20 6 30.0%	30 20.0%	30
イ	観光協会イベント開催	→	イ	主催・共催イベントの開催数	回	目標 実績 達成率	39 35 89.7%	40 8 20.0%	15 7 46.7%	25 28.0%	25
ウ		→	ウ			目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 07		01 項		03 目		04 01		01 中事業					事業番号
	一般会計		商工費		商工費		観光費		町観光協会補助金		町観光協会補助金					
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	04390		
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600		一般財源	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600				
合計	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600		合計(A)	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	0			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	8	8	8	8	8				
							人件費計(千円)(B)	28	27	27	27	27	0			
	最終予算額		7,600 千円		予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)	7,628	7,627	7,627	7,627	7,627	0		
主な支出事業内容(予算)	補助金					7,600 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金					7,600 千円			

事業番号	04390	事務事業名	町観光協会補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 効率的で効果的な観光振興を目指した組織力強化のため、平成23年3月に鏡野町観光協会設立。専用事務所が設置され、四季の魅力を発掘し、各地域の連携を強化し観光協会の一本化を図り、誘客事業の強化に努めている。新たな観光推進体制を構築するため、地域づくり法人(DMO)の設立に向けた協議が進められている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 平成23年3月、鏡野町観光協会設立。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 地域の活性化、飛躍的な観光振興を目指す組織として、協会の自立と協会の意識改革が求められている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 各地域の活性化を目的に、多くの集客が得られるよう観光振興に努めている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町内観光振興の充実と連携を図っている。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町の考えとして、鏡野町内の各地区観光団体を、鏡野町観光協会にまとめたものである。また、新たな時代に適応した推進体制の構築に向け、準備・協議が進められている。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 町内の総合的な観光の魅力向上を図るため、地域づくり法人(DMO)の設立に向けた準備・協議を進め、持続可能な組織体制の強化を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 観光振興、地域活性化への影響は大きい。点在する観光施設の存続にも影響が出ると思われる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 補助金での交付が、鏡野町観光協会が自らの意思で一番動きやすいと考える。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 平成23年3月に設立したものであり、当分は現状維持が適当であるが、昨今の観光振興の状況は厳しさを増しており、効果的な取り組みが必要である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金交付申請の受付事務であり、削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 鏡野町全体で一本化した唯一の観光協会であるので、鏡野町民全体が受益者である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	各地域を一本化し、全町的な観光協会としてある程度の意識改革が進められた。新型コロナウイルスや異常気象等のリスクを踏まえ、持続可能な観光推進体制の構築が急務となっており、観光地域づくり法人(DMO)の設立にむけ、プロモーション本部と観光協会が中心となり準備・調整を進めていく必要がある。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																					
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 観光地域づくり法人の設立を見据えながら、プロモーション本部と鏡野町観光協会が連携した独自のプランやイベント等の企画・造成を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題 プロモーション本部と鏡野町観光協会の連携強化。観光地域づくり法人(DMO)の早期設立に向けたマンパワーの確保。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																					